

| 21 良好な市街地の形成  |   |          |              |
|---------------|---|----------|--------------|
| 主管課名          | 都市整備部 都市計画課   |          |              |
| 主管課長名         | 花岡 大  | 電話番号     | 042-481-7540 |
| 関係課名<br>(組織順) | 産業振興課, 農政課, 環境政策課, 緑と公園課, 住宅課, 街づくり事業課, 道路管理課, 建築指導課  |          |              |
| 目的            | 対象  | 市内全域     |              |
|               | 意図  | 便利で快適になる |              |
| 施策の方向         | 都市計画の最上位計画である調布市都市計画マスタープランを基本として、適切な土地利用を推進するとともに、市民の身近な景観の価値を高める景観街づくりを推進し、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成します。 |          |              |

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



## 1 令和3年度の振り返り — 取組実績 (DO)

| 施策の成果向上に向けた主な取組実績<br>施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)  |  |
|---|--|
| <p><b>(21-1 適正な土地利用の推進)</b><br/>                 都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき、平成10年6月に市の都市計画（まちづくり）分野の最上位計画として策定し、以後、変化のあった社会経済情勢やまちづくりの動向などを踏まえ、平成26年9月に改定した。令和4年度にその目標年次を迎えることから、次期マスタープランの策定に向けた調査・検討を行った。</p> <p>各地域の特性にふさわしい良好な市街地を創出するため、西調布駅周辺、多摩川住宅、京王多摩川駅周辺、国領町八丁目周辺などの地区において、街づくり条例に基づき、地域住民の合意形成を図りながら、地区レベルでの規制・誘導策を検討するなど、地区計画制度を活用したまちづくりに取り組んだ。</p>   | <p><b>①横断的連携による施策の推進</b><br/>                 土地利用については、令和5年度からの次期総合計画（基本構想・基本計画）の策定における前提の一つとなることから、総合計画策定の取組と相互の状況を共有するなど、組織横断的な連携を図りながら、次期マスタープラン及び立地適正化計画の検討に取り組んだ。また、多摩川流域での防災まちづくりなど、広域的な視点から検証するため、隣接する自治体、国、東京都との意見交換を定期的実施した。</p> <p><b>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</b><br/>                 京王多摩川駅周辺地区において、京王電鉄株式会社による駅前開発を契機とし、地区の将来像として「地域共生社会に向けた 多世代が共に生き 多様な主体が交流する コンパクトなまちづくり」を掲げ、駅周辺の地区計画等の検討を進め、令和4年3月にまちづくり懇談会を開催した。</p> |
| <p><b>(21-2 景観まちづくりの推進)</b><br/>                 景観計画や景観条例などの景観法に関連する諸制度を活用し、景観アドバイザーからの助言等を踏まえ、事業者との協議・調整をすることで、良好な景観形成を推進した。</p> <p>令和3年度は、調布市景観計画に位置付けた「駅」の景観形成推進地区における景観形成方針や、市内9駅の特性に合わせた駅周辺の景観誘導を行うため、景観形成基準の見直しなどの調査等を行った。</p>   | <p><b>①横断的連携による施策の推進</b><br/> <b>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</b><br/> <b>■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」</b><br/>                 開催を見据え、公共サインを計画的に整備したうえで、国際大会をむかえることができた。</p>  |
| <p><b>&lt; 令和3年度における施策の成果についての総括 &gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けて、令和2年度に整理した基礎データ（主要指標の変化等）を基に、主要課題の整理及び全体構想の検討を行った。プラン策定における市民参加の取組については、感染拡大防止の観点から踏まえ、翌年度の実施に向けた準備を進めた。また、広域的な視点から検討するため、近隣市及び国、東京都との意見交換を実施した。</li> <li>令和6年度の用途地域等地域地区の見直しを見据え、現行の課題を抽出し、見直し方針や指定方針、指定基準の改定に向けた検討を行った。また、見直し箇所等の選定に向けた課題の整理に取り組んだ。</li> <li>西調布駅周辺、多摩川住宅、京王多摩川駅周辺、国領町八丁目周辺などの地区において、地区レベルでの規制・誘導策を検討するなど、地区計画制度を活用したまちづくりに取り組んだ。</li> <li>市内9駅の特性に合わせた個性的な駅周辺の景観について、コロナ禍にあって、参加と協働による「市内9駅の駅まわりの魅力発見」をテーマにした調査を行った。</li> <li>調布市景観計画策定（平成26年2月）後7年が経過し、京王線の地下化、調布駅前広場や都市計画道路の整備などの駅周辺の整備の進展、また、駅やその周辺の利用者状況の変化に合わせて、景観形成の考え方を改めて整理した。</li> </ul> |  |

| まちづくり指標                  | 基準値<br>(基準年度) | 単位 | 実績値   |       |       | 目標値   | 達成状況* |
|--------------------------|---------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
|                          |               |    | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 1 住みやすいと感じている市民の割合       | 93.0<br>(H30) | %  | 94.2  | 94.1  | 93.0  | 95.0  | ▼     |
| 2 市内に優れた景観があると感じている市民の割合 | 82.5<br>(H30) | %  | 85.1  | 82.1  | 82.7  | 90.0  | ○     |
| 【特記事項】                   |               |    |       |       |       |       |       |

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ⇒：前年度と同じ
- －：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- ・達成見込みを次の区分により記号を記入
  - ◎：「目標値達成に向け順調に推移」
  - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
  - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」

| まちづくり指標   | 達成見込み | 要因・課題<br>(目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)                      |
|---|-------|---|
| 1 住みやすいと感じている市民の割合<br>(目標値：95.0% 現状値：93.0%)       | ○     | 中心市街地の整備が総仕上げの段階に入り、コロナ禍の不安も解消へむかうことが期待され、市民意識の向上が見込まれるため |
| 2 市内に優れた景観があると感じている市民の割合<br>(目標値：90.0% 現状値：82.7%) | ○     | 調布駅前広場の整備の進捗等に合わせて市民意識の向上が見込まれるため                         |

2 令和3年度の振り返り — 評価 (CHECK)

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価

※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

|      |   |   |
|------|---|---|
| 総合評価 | A   | S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」<br>A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」<br>B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」<br>C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」<br>D：「実施した取組において成果が得られなかった。」 |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期都市計画マスタープランの策定に向けて、令和3年度は、前年度に整理した基礎データを踏まえ、主要課題の整理及び全体構想の検討を行うとともに、翌年度の市民参加に向けた準備を進めることができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、街づくり協議会等の住民の活動が制約された中において、西調布駅周辺、多摩川住宅、京王多摩川駅周辺、国領町八丁目周辺などの地区において、地区レベルでの規制・誘導策を検討するなど、地区住民の合意形成を図りながら、地区計画制度を活用したまちづくりの検討を進めることができた。</li> <li>・景観計画や景観条例などの景観法に関連する諸制度を活用し、景観アドバイザーからの助言等を踏まえ、事業者と早めに協議・調整をすることで、良好な景観形成を推進することができた。</li> </ul> |   |

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

| 計画どおり・計画より進んだ取組等<br>(現基本計画で予定した成果が十分得られる)   | 今後の取組の方向<br>※近隣自治体との比較があれば併せて記載   |
|---|---|
| ①次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けて、調査検討を進めた。<br>②用途地域等の一斉見直しに向けた課題抽出や指定方針・指定基準等の改定を含めた検討を行った。<br>③中心市街地における公共サイン整備<br>④東部地区の検討対象エリアを広げ（当初予定の柴崎駅につつじヶ丘駅を追加）、まちづくり検討を進めた。 | ①新たに策定する都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の運用により、適切な土地利用を図っていく。<br>②令和6年度の用途地域等の一斉見直しに向け、引き続き、必要な検討を進めていく。<br>③三鷹通り、狛江通り等の都道整備状況に合わせて、布田駅・国領駅周辺での誘導サインの設置を進める。<br>④東部地区の抜本的な交通環境の改善と一体的にまちづくりを進めていくため、(仮称)まちづくり総合計画の策定検討を進める。 |
| 計画より遅れた取組等<br>(現基本計画で予定した成果が得られない)  | 遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等<br>※近隣自治体との比較があれば併せて記載  |
| ①公共サイン整備計画（調布駅編）第2期の策定検討  | ①オリンピックの開催延期、コロナ禍の影響等に併い検討スケジュールの再調整を行う。  |

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>・現行都市計画マスタープランを適切に運用するとともに、次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けて、将来人口や土地利用動向などの現況や課題を踏まえて、全体構想等の調査・検討を行った。令和2年度に整理した基礎データ（主要指標の変化等）を基に、主要課題の整理及び全体構想を検討した。</p> <p>・令和6年度の用途地域等地域地区の見直しを見据え、現行の課題を抽出し、見直し方針や指定方針・指定基準の改定に向けた検討を行った。また、見直し箇所等の選定に向けた課題の整理に取り組んだ。</p> <p>・多摩川住宅地区において、狛江市に位置する二号棟の建替意向の高まりや検討の進展を受けて、狛江市との連携の下、令和3年5月に地区計画の変更を行った。</p> <p>・つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区において、抜本的な交通環境の改善と一体的にまちづくりを進めていくため、連続立体交差事業を見据えた「(仮称)まちづくり総合計画」の検討を開始した。</p> <p>・調布駅周辺地区内の調布駅南口中央地区については、老朽化した建物の更新に合わせて、活気とにぎわいのある商業・業務地区の形成に向け、令和3年4月に、市街地再開発準備組合が設立され、事業検討が進められた。</p> <p>・京王多摩川駅周辺地区において、京王電鉄株式会社による駅前開発を契機とした地区計画の検討に取り組んだ。</p> <p>・深大寺地区において、街なみ環境整備事業として散策路の改修や公共サイン案内板の設置を進めるとともに、深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備に向けた検討に取り組んだ。</p> <p>・国領町八丁目・和泉本町四丁目周辺地区について、狛江市との連携の下、東京慈恵会医科大学附属第三病院の建替に伴う地区計画変更に向けた都市計画手続等を進めた。</p> <p>・西調布駅周辺地区において、優先整備路線である都市計画道路（調布3・4・31号線）の整備を見据え、駅南側の現況・課題の整理や地区整備計画の検討を進めた。</p> <p>・北部地区について、令和2年12月に街づくり条例に基づく街づくり準備会の認定を行い、地区住民による会合が定期的に開催されており、まちづくり検討の支援を行った。</p> <p>・景観法に基づく届出や通知、景観条例に基づく事前協議により、周辺と調和した街並みへの誘導を図り、景観まちづくりを推進した。</p> <p>・国分寺崖線景観形成重点地区における開発事業等の計画の際、具体的な緑の配置方法や樹種選定の手引きとして活用できる「景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）」を事業者に配布し、崖線の地形や既存の植生を尊重した緑の景観づくりを進めた。</p> <p>・景観計画に位置付けた「駅」の景観形成推進地区における景観形成方針や景観形成基準の見直しに向けた調査・検討を行った。</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の開催に向けて、スポーツ祭東京2013開催時に飛田給駅から競技会場周辺に設置した誘導サイン等の更新を行うとともに、飛田給駅北口広場と主要市道32号線（スタジアム通り）市境に歩行者用観光案内標識を各1基設置した。</p> <p>・調布市中心市街地公共サイン整備計画〔布田駅・国領駅編〕（平成28年3月策定）に則り、令和2年度に布田駅周辺に1基の誘導サインを設置、令和3年度から令和4年度にかけて国領駅周辺に4基の誘導サインを設置した。</p> |   |   |
| 評価  | B | <p>【評価区分】<br/>                     現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価<br/>                     S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」<br/>                     A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」<br/>                     B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」<br/>                     C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」<br/>                     D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」</p> |

### 3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション (DX)・スマートシティ」、「カーボンニュートラル」、「産学官連携」のほか、施策横断的なテーマである「共生社会の充実 (パラハート)」、「安全・安心 (防災・減災・防犯・感染症対策)」、「ソフト・ハードが一体となったまちづくり (中心市街地整備, 地域別まちづくり, 都市計画道路整備)」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

|               | 市政に与える影響  | 左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向  |
|---------------|---|--|
| 全国的な潮流・傾向等    | <p>①国の目指す「集約型都市構造の実現」<br/>各都市における市街地は公共交通沿線に形成されてきたが、今後は、少子・超高齢社会に対応した「歩いて暮らせるコンパクトな集約型都市構造」への再編が不可欠となっている。</p> <p>②防災まちづくりの動向<br/>近年における自然災害の頻発・激甚化をふまえ、関係部署の横断的連携による防災まちづくりに取り組む必要性が高まっている。</p>   | <p>①③次期都市計画マスタープランの地域別構想の考え方を整理<br/>次期都市計画マスタープランにおける将来都市構造や地域別構想の考え方を整理するにあたっては、地域拠点や地域資源などの要素を考慮しながら、地域ごとの特性に留意した検討を行う。</p> <p>②④安全安心のまちづくりの取組<br/>令和元年台風第19号による市内に発生した被害を踏まえ、今後の水害対策の検討を含め、防災まちづくりの推進を図る。</p> |
| 東京都や近隣自治体の動向等 | <p>③東京都の目指す「集約型の地域構造への再編」<br/>広域的には、概成する環状メガロポリス構造を更に進化させ、「交流・連携・挑戦の都市構造」の実現を目指すとともに、地域的には、「集約型の地域構造への再編」などを図り、活力とゆとりのある高度成熟都市を創造する。</p> <p>④都市の確実な安全と安心の確保<br/>令和2年1月に、概ね5年間の行動計画として「東京都豪雨対策アクションプラン」が策定され、豪雨対策基本方針に基づく2020年以降の取組について、これまでの取組を加速するとともに、対策強化エリアの拡大の検討などの新たな取組や、樋門等の施設改良など、令和元年台風第19号の被害を踏まえた取組を実施していくこととした。</p> |  |
| その他           |   |  |

◆施策を取り巻く状況【B】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で、法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

|               | 市政に与える影響 | 左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向 |
|---------------|----------|---------------------|
| 全国的な潮流・傾向等    |          |                     |
| 東京都や近隣自治体の動向等 |          |                     |
| その他           |          |                     |

施策 2 1 「良好な市街地の形成」に関連する基本計画事業

|   |   |                        |                      |                                |
|---|---|------------------------|----------------------|--------------------------------|
| 計画コード   | 66  | 重点P                    |                      | -                              |
| 事務事業  | 都市計画マスタープランの運用  |                        |                      | 総合戦略 ●                         |
| 所管部署  | 都市整備部 都市計画課 都市計画係   |                        |                      |                                |
| 事業概要  | <p>調布市都市計画マスタープランに基づき、新たな都市政策課題や街づくりの進捗等に対応した適正な土地利用を推進する。</p> <p>昨今の社会経済状況の変化や人々の価値観やライフスタイルの多様化を踏まえながら、令和4年度末の次期調布市都市計画マスタープランの策定に向けた検討を行う。併せて、自然災害への対応、人口構造の変化等により生じる都市の課題解決のため、立地適正化計画策定に向けた検討を行う。</p> <p>東京都の区域区分の一斉見直しに合わせ、令和6年度の用途地域等の見直しに向けた検討を行うとともに、「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」等の改定等の検討を行う。</p> <p>これらについて、適正な土地利用が図れるよう検討し、都市計画マスタープランを運用していく。</p>                                     |                        |                      |                                |
| <b>[PLAN▶DO▶CHECK]</b>  |   |                        |                      |                                |
| 活動内容<br>(事業費ベース)  | 計画目標  | 令和3年度                  |                      |                                |
|   |   | (計画)                   | (当初予算)               | (決算・実績)                        |
|   | ○都市計画マスタープランの運用、策定  | ○都市計画マスタープランの運用        | ○都市計画マスタープランの運用、策定検討 | ○都市計画マスタープランの運用                |
|   | ○地域別街づくり方針の運用、見直し着手   |                        | ○立地適正化計画の策定検討        | ○次期都市計画マスタープランの策定検討(立地適正化計画含む) |
|   | ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の策定、運用   | ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用 | ○用途地域等見直し検討          | ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用・改定検討    |
|   | ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用  |                        |                      | ○用途地域等見直し検討                    |
|   | 事業費 (千円)  | 8,000                  | 21,641               | 21,541                         |
|   | 債務負担行為等による用地取得費   | 0                      | 0                    | 0                              |
| 令和3年度取組実績   | <input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響  |                        |                      | 実績評価 ○                         |
| 説明  | <p>令和4年度末の次期都市計画マスタープランの策定に向けて検討を行った。また、頻発・激甚化する自然災害への対応や人口構造の変化等により生じる都市構造上の課題解決の視点を踏まえ、立地適正化計画の策定に向けた検討を行った。</p> <p>令和3年度は、前年度の調査結果を踏まえ、全体構想における将来都市構造の検討、地域の拠点の考え方の整理、各分野におけるまちづくりの課題整理などを実施した。</p> <p>一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次期都市計画マスタープラン策定に向けたワークショップなどの市民参加手法を令和3年度において実施することができず、翌年度へ延期した。その間の対応として、市民アンケートの作成及び実施準備、市ホームページを通じた取組の広報及び意見募集フォームの掲載などを通じて、市民から広く御意見を伺うための取組を進めた。</p> |                        |                      |                                |
|  |   |                        |                      |                                |
| <b>[ACTION]</b>   |   |                        |                      |                                |
| 今後の方向   | <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善   |                        |                      |                                |
| 今後の取組の方向  | <p>令和5年度からの次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けては、次期調布市総合計画策定との整合を図るとともに、感染症対策を徹底しながら、市民参加を實踐し、昨今の社会経済状況の変化や人々の価値観、生活様式の多様化を踏まえた取組を計画に反映させるよう検討していく。また、都市計画等の各分野の有識者による議論を経て、専門家の視点からもまちづくりの方針や施策の検討を深めていく。次期プランの策定後は、新たな都市計画マスタープランの下で、適正な土地利用の誘導を図っていく。</p> <p>用途地域等の一斉見直しに向けては、即時的な見直しの検討を進めるとともに、次期都市計画マスタープランの改定と合わせた「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」等の改定に向けた検討を行う。</p>                                   |                        |                      |                                |

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 1 「良好な市街地の形成」に関連する基本計画事業

|                        |  |  |  |   |
|------------------------|--|--|--|---|
| 計画コード                  | 67   | 重点P  | -  |   |
| 事務事業                   | 地区計画制度を活用した街づくり  |  | 総合戦略 ●   |   |
| 所管部署                   | 都市整備部 都市計画課 市街地整備係   |  |  |   |
| 事業概要                   | <p>地区計画制度は、都市計画法により昭和55年に創設され、都市計画法と建築基準法を連動させることにより、地区レベルの住民参加の街づくりを推進するための手法である。</p> <p>都市計画マスタープランに掲げる将来都市像の具現化の一手法として、地区の特性にふさわしい良好な街並みを創出するため、地区計画制度を活用した街づくりを推進する。</p> <p>地区計画制度の活用のため、具体的なルールを定める地区整備計画の策定及び地区計画の定まっていない地区への導入のための検討を行う。</p>  |  |  |   |
| <b>【PLAN▶DO▶CHECK】</b> |  |  |  |   |
| 活動内容<br>(事業費ベース)       | 計画目標   | 令和3年度  |  |   |
|                        |  | (計画)   | (当初予算)   | (決算・実績)   |
|                        | ○地区計画制度を活用した街づくりの推進  | ○多摩川住宅地区の検討<br>○柴崎駅周辺地区の検討<br>※No79(道路ネットワークの形成)と連動<br><br>○調布駅周辺地区の検討<br>○京王多摩川駅周辺地区の検討<br>○深大寺周辺地区の検討<br>○国領町8丁目周辺地区の検討<br>○西調布駅周辺地区の検討<br>※No79と連動<br>○その他地区の検討<br>○地区施設等測量設計 | ○多摩川住宅地区の検討<br>○柴崎駅周辺地区の検討<br><br>○調布駅周辺地区の検討<br>○京王多摩川駅周辺地区の検討<br>○深大寺周辺地区の検討<br>○国領町8丁目周辺地区の検討<br>○西調布駅周辺地区の検討 | ○多摩川住宅地区の検討<br>○つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区の検討<br>※No79(道路ネットワークの形成)と連動<br>○調布駅周辺地区の検討<br>○京王多摩川駅周辺地区の検討<br><br>○国領町8丁目周辺地区の検討<br>○西調布駅周辺地区の検討<br>※No79と連動 |
| 事業費 (千円)               |  | 23,000   | 30,580   | 22,088  |
| 債務負担行為等による用地取得費        |  | 0  | 0  | 0   |
| 令和3年度取組実績              | <input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響  |  |  | 実績評価 ○  |
| 説明                     | <p>多摩川住宅地区においては、狛江市域である二号楼街区の都市計画変更を行った。</p> <p>つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺地区は、上位計画である都市計画マスタープランを踏まえ、両駅周辺の地域住民のまちづくりの機運醸成を図り、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に向け、地域のまちづくりにおける現状と課題を整理するとともに、まちづくりの方向の検討を行った。</p> <p>調布駅南口中央地区においては、令和3年4月に市街地再開発準備組合を設立した。また、調布駅周辺地区全体の検討も併せて行った。</p> <p>京王多摩川駅周辺地区においては、地区計画や土地区画整理事業など、今後のまちづくりに向けた検討を行った。</p> <p>国領町8丁目周辺地区においては、狛江市と連携し、慈恵第三病院の建替えに合わせて、地区計画等の検討を行った。</p> <p>住民発意によるまちづくりの推進・支援のため、引き続き、街づくり協議会や街づくり準備会と連携し、市民との協働によるまちづくりに取り組んだ。</p> <p>深大寺については、深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備(深大寺通り横断歩道設置)の検討が必要となったため、街なみ環境整備事業の取組を見送り、深大寺や関係機関等との協議・調整、対応検討を進めた。</p> |  |  |   |
| <b>【ACTION】</b>        |  |  |  |   |
| 今後の方向                  | <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善  |  |  |   |
| 今後の取組の方向               | <p>将来にわたって、自然の豊かさと都市の利便性やにぎわいを感じられる暮らしやすいまちであり続けられるようにするため、引き続き、市民、事業者及び市の協働によるまちづくりを推進し、地域の特性を生かした住民参加のまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>引き続き、地区の特性にふさわしい良好な街並みなどについて住民同士で共有するため、地区住民の合意形成を図りながら、きめ細かい地区レベルでのルールづくりを進める。</p> <p>まちづくり検討を進めている既存の協議会・準備会との連携、支援のほか、新たに地区計画の検討を進める地区への支援に取り組む。</p> <p>深大寺周辺地区については、深大寺白鳳院建設に伴う周辺環境の整備のほか、継続して深大寺地区街なみ整備基本計画に基づいた、歩行者の安全・安心の確保のほか、回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、地域と連携しながら、深大寺地区の魅力向上に取り組む。</p>  |  |  |   |

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

## 施策 2 1 「良好な市街地の形成」に関連する基本計画事業

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 計画コード   | 68  | 重点P   | ⑤   | 人と自然が共生するうるおいのあるまち  |
| 事務事業  | 景観計画・景観条例の運用  |   |   | 総合戦略 ●  |
| 所管部署  | 都市整備部 都市計画課 開発景観係   |   |   |   |
| 事業概要  | <p>景観行政団体として、調布らしい魅力ある景観形成のため、調布市景観計画や調布市景観条例などの景観法の諸制度を活用した景観まちづくりを推進する。一定規模以上の建築物等に対する届出審査を通じて、市の景観特性を生かしたきめ細かな規制誘導を行うとともに、地域固有の景観の魅力をも市民と共有し、景観価値の向上に取り組む。</p>   |   |   |   |
| <b>[PLAN▶DO▶CHECK]</b>  |   |   |   |   |
| 活動内容<br>(事業費ベース)  | 計画目標  | 令和3年度   |   |   |
|   |   | (計画)  | (当初予算)  | (決算・実績)   |
|   | ○景観法を活用した景観まちづくりの推進   | ○景観計画に基づく届出制度の運用<br>○景観形成推進地区等の追加検討<br>○景観学習の推進<br>○景観形成ガイドラインの検討 | ○景観計画に基づく届出制度の運用<br><br>○景観学習の推進<br><br>○駅の景観形成推進地区の範囲及び景観形成基準の改定検討 | ○景観計画に基づく届出制度の運用<br><br>○景観学習の推進<br><br>○駅の景観形成推進地区の範囲及び景観形成基準の改定検討 |
|   | 事業費 (千円)  | 6,500   | 4,100   | 3,795   |
|   | 債務負担行為等による用地取得費   | 0   | 0   | 0   |
| 令和3年度取組実績   | <input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響  |   |   | 実績評価 ○  |
| 説明  | <p>景観計画や景観条例に基づき、建築・開発行為等に対する届出審査を通じて、良好な景観形成に向けた規制誘導を行った。<br/>調布市内の京王線9駅周辺の現況について調査を行い、現在考えられる検討課題と市としての方向について景観審議会において協議を行った。<br/>また、コロナ禍の影響により参加者が集まらなかったが、調布市景観まちづくり市民検討会において「市内9駅の駅まわりの魅力」について調査・検討を行うとともに、景観だより(53号～56号)を活用して調査研究の発表を行った。</p> |   |   |   |
|  |   |   |   |   |
| <b>[ACTION]</b>   |   |   |   |   |
| 今後の方向   | <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善   |   |   |   |
| 今後の取組の方向  | <p>景観計画策定から8年が経過し、調布市景観計画の内容や基準等が現状と合わない事案も出てきているため、現況に応じた景観計画の見直しを引き続き検討していく。<br/>こうした状況を踏まえつつ、令和4年度は、上位計画である都市計画マスタープランにおいて調布市内における景観定義の再確認を行う。</p>   |   |   |   |

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

## 施策 2 1 「良好な市街地の形成」に関連する基本計画事業

|   |  |   |   |   |
|---|--|---|---|---|
| 計画コード   | 69   | 重点P   |   | -                                       |
| 事務事業  | 公共サイン計画の検討・運用  |   |   | 総合戦略 ●                                  |
| 所管部署  | 都市整備部 都市計画課 開発景観係  |   |   |   |
| 事業概要  | ユニバーサルデザインの考え方のもと、歩いて楽しいまちづくりを目指し、来訪者や市民の回遊性を高めるため、利用者の視点に立った分かりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進するとともに、計画的な維持管理を推進する。また、街並み景観に配慮した統一感のある公共サインの整備等、良好な景観形成に寄与する公共サインの整備・管理を通じた景観まちづくりを推進する。 |   |   |   |
| <b>[PLAN▶DO▶CHECK]</b>  |  |   |   |   |
| 活動内容<br>(事業費ベース)  | 計画目標   | 令和3年度   |   |   |
|   |  | (計画)  | (当初予算)                                  | (決算・実績)                                 |
|   | ○公共サインの整備及び計画的な維持管理  | ○競技会場周辺の公共サインの運用<br><br>○中心市街地におけるサイン整備<br><br>○公共サイン整備計画(調布駅編)第2期の策定検討 | ○競技会場周辺の公共サインの運用<br><br>○中心市街地におけるサイン整備 | ○競技会場周辺の公共サインの運用<br><br>○国領駅周辺誘導サイン2基設置 |
|   | 事業費 (千円)   | 8,000   | 2,035                                   | 2,078                                   |
|   | 債務負担行為等による用地取得費  | 0   | 0                                       | 0                                       |
| 令和3年度取組実績   | <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響  |   |   | 実績評価 ◎                                  |
| 説明  | 調布市中心市街地公共サイン整備計画「布田駅・国領駅編」(平成28年3月策定)に則り、国領駅周辺に羽板(矢羽)タイプの誘導サイン2基を設置した。また、オリンピック、パラリンピック開催前に、飛田給・西調布駅周辺公共サイン全ての保守点検を行った。   |   |   |   |
|  |  |   |   |   |
| <b>[ACTION]</b>   |  |   |   |   |
| 今後の方向   | <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善    |   |   |   |
| 今後の取組の方向  | 三鷹通り、狛江通り等の都道整備状況に合わせて布田駅・国領駅周辺での誘導サインの設置を進める。調布駅前広場などの整備の進捗に合わせて、調布市中心市街地公共サイン整備計画(調布駅/第2期)策定に向けた検討を行う。   |   |   |   |

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。